

医学教育センターニュース

令和3年11月 Vol. 47

新型コロナウイルス第5波の収束で少し明るい兆しが見えてきたでしょうか。第6波の到来を見据え、まだまだ油断できない状況ではありますが、日々の楽しみを見つけ、明るい気持ちで毎日を過ごしましょう。



臨床実習への第一歩！ 共用試験 OSCE および CBT

臨床実習前の共用試験OSCEおよびCBTは、Student Doctorとして臨床現場に出るための第一歩となります。これらの試験が、それぞれ10月23日(土)、11月9日(火)に、4年生を対象に行われました。

共用試験OSCEは、臨床実習を行う臨床能力を身につけているかを試す実技試験で、身体診察と医療面接から構成されます。それぞれ多数の小部屋で区切られている実習棟A2階と医修館4階で行いました。身体診察の試験では例年通り5つの課題を課し、昨年同様コロナ禍での実施形態として、身体模擬患者は学内の先生方や事務職員の方々に演じて頂きました。医療面接も、試験進行を十分に理解された模擬患者さんのご協力により、今年も滞りなく実施することができました。限られた試験時間の中で学生たちが十分に力を発揮できるよう、会場設営や進行にあたって入念に準備し、学生たちもこれに応えるように真剣に課題に取り組んでいました。



共用試験OSCE終了後は、ほっと息をつく間もなく、共用試験CBTが行われました。例年通り工学部の情報処理演習室をお借りして実施しました。共用試験CBTはパソコンを通して送られてくる、ランダムに抽出された選択問題に対し、一問一答で進んでいく試験です。学生たちは、普段と異なる場所で、自分たちにとって初めての試験形式であるにもかかわらず、冷静に着実に取り組んでいました。

医学生には卒業前から社会人・医療人としての自覚が求められます。4年生はこれらの試験のために、実技の習得や知識の深化と同時に、病院という社会に出るための貴重な準備期間を過ごしたことと思います。

試験の運営に関しては、外部評価者の先生方から、「マニュアルを忠実に遵守した運営で、進行もスムーズ」であったと高い評価を頂きました。なお、これらの試験は令和5年度から国家試験のように法律に基づいて行われ、医行為を行うStudent Doctorが法的に位置づけられることも決まりました。制度改変で試験自体にも影響が及ぶと予想されますが、今後の動向を注視し対応して参ります。

この度の共用試験にご協力頂きました関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

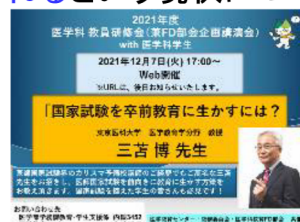
医学部医学科・保健学科合同 FD研修会「著作権法改正と学校教育」開催

10月18日(月)に医学部医学科・保健学科合同 FD研修会を開催しました。演者に山口大学国際総合科学部 教授・知的財産センター長の小川 明子先生をお迎えし、Web形式にて行いました。テーマは「著作権法改正と学校教育」。コロナ禍での遠隔講義の増加により、著作権法が予定より早期に改正されたことを受け、大学が迫られる具体的な対応についてお話をしました。

当日は約90名もの教職員にご出席頂き、大変な盛会となりました。会ではまず、篠田医学部長よりご挨拶を賜り、医歯薬系に特化して著作権管理を行う組織の動向等を踏まえ、医学部での著作権に対する関心は非常に高いとの認識を共有しました。続いて、医学部教員を対象に行った講義資料と著作物に関するアンケートの結果を供覧しました。この結果に関して小川先生より、医学部教員の著作権への意識はとても高いと評価され、ご講演の中でもアンケートに基づいた個別のケースへのご回答も頂きました。

講義での著作物の利用に関しては、①適切に引用される範囲、②引用を超える使い方であるが著作者の利益を害さない範囲、③質や分量から著作物の利益を害するとされる範囲の3段階があり、②や③といった著作権侵害のリスクに対しては、②は文化庁指定の組織に定額を支払うことでリスクを回避でき、既に山口大学でも対応済み、③は別途ライセンス処理が必要でそのために高額な支払いを余儀なくされるという現状についてご解説頂きました。3つの段階がそれぞれどのようなケースに相当するかについて詳細にお教え頂き、大変実り多い研修会となりました。

※ 研修会動画は医学部の電子シラバス「eYUME」の“動画配信(教員専用)”にて視聴可能です。→<https://eyume.med.yamaguchi-u.ac.jp/2021/TeacherMovies>



医学教育センターでは、定期的にFD研修会を開催しています。次回は12月7日(火)17時よりWeb形式にて、「国家試験を卒前教育に生かすには？」と題し、東京医科大学医学部教育学分野教授の三苦博先生にご講演頂く予定です。教員だけでなく、国家試験を控えた学生にも見逃せない内容となっていますので、皆様奮ってご参加ください。

キャリア教育で描く将来の医師像

10月14日(木)、臨床系特別専門講義として、キャリア教育が行われました。1月より臨床実習がスタートした5年生ですが、病院で働く様々な医師と触れ合うなかで、自らの将来を思い描く機会も多いと思います。キャリア教育には、そんな学生たちに山口大学で働くイメージを膨らませ、生涯にわたり活躍するバイタリティ溢れる医師になってほしいという思いが込められています。働き方、キャリア形成の仕方が多様化する中、学生時代に一度、理想の医師像を描き、それを見失うことなく突き進んでほしいと願っています。



ご意見・ご要望等につきましては、医学教育センターへ
お願いします。 TEL: 0836-85-3747
E-mail: mec01@yamaguchi-u.ac.jp